

あいホール図書だより

あいホールでは、男女共同参画に関わる本を収集、貸し出しています。皆さまのご利用をお待ちしています。

2022.11



女性に対する
暴力根絶のための
シンボルマーク

11月12日～11月25日

女性に対する暴力をなくす運動期間

暴力は、人権侵害であり、加害者、被害者の間柄や性別を問わず決して許されるものではありません。性犯罪、セクハラ、ストーカーなど、とりわけ女性が被害を受けやすい実情、根本的な問題はどんなことにあるのでしょうか。遠い知らない誰かの話ではなく、どこかで私たちとつながっている暴力について考える本を紹介します。

『わたしは黙らない 性暴力をなくす30の視点』 合同出版編集部 編, 合同出版, 2021年



性暴力が今よりもっと語られづらい時代から声をあげ続け、社会的な問題としての重要性を明らかにしようとしてきた人たちと今の社会問題に向きあう若者たちの言葉です。性暴力をなくすために30人の視点から発せられる未来へのメッセージ。内容について理解を深めるためのコラムやおすすめ本も掲載しています。

『防大女子 究極の男性組織に 飛び込んだ女性たち』

松田小牧 著
ワニ・プラス
2021年



今夏、元陸上自衛隊の女性自衛官が、男性自衛官からの性被害を訴えました。著者は、まえがきで、本書の目的の一つに「女性自衛官が自衛隊生活の中で喜び、悲しむのは何が原因かを明らかにすること」と述べています。防衛大女子1期生から現役防大生の現状と生の声を集めてつづられた内容から、男性組織の中で女性への性暴力が起こる理由を感じ取ることができます。

もう2冊
紹介

『こんな対応絶対ナシ！ マタハラ・パタハラ イラスト事例集』

森井梢江 著, 労働調査会, 2022年

『黙殺される教師の「性暴力」』

南彰 著, 朝日新聞出版, 2022年

あいホール図書利用案内

あいホール図書コーナーでは、運転免許証などの身分証明書をお持ちいただければ、その場で利用登録ができます。あいホール休館日は、ご利用できません。

利用時間 9:00～21:00
貸出期間 2週間（貸し出し無料）
図書・雑誌・紙芝居 1回につき3点まで
DVD等（視聴覚資料） 1回につき1点まで

『スポーツの世界から
暴力をなくす 30の方法
もう暴言もパワハラもがまんしない!』

土井香苗
杉山翔一
島沢優子 編
セーフスポーツ・
プロジェクト 監修
合同出版
2021年



勝利至上主義に縛られたままのスポーツの世界には暴力が存在します。なぜ人はスポーツをするのか、指導者、保護者への啓発、サポートや法律・制度の改善の必要性などを考える必要があります。スポーツ界から暴力をなくし、子どもを含めすべてのスポーツをする人の権利と安全と健康が守られるためにはどうすればよいかが記されています。

『パパと怒り鬼 話してごらん、だれかに』

グロー・ダーレ 作
スヴァイン・ニーフース 絵
大島 かおり
青木 順子 訳
ひさかたチャイルド
2011年



DV家庭で育つ子どもの傷は、その子の将来にも影響を及ぼします。親の暴力を目撃した子どもが置き去りにされずに、助けを求められ、話を聞いてくれる人がいるということを伝えていきます。さらに、被害者支援のためには、加害者が変わること（加害者更生プログラム）の必要性も訴えています。



『海をあげる』

上間 陽子 著
筑摩書房, 2020年



沖縄で若い女性の調査を行う著者が、幼い娘のかたわらで起こった出来事についてつづられたエッセー一集です。沖縄で基地と共に暮らす人々は、基地のことその周りで起こる暴力のことの多くを語らないと著者は言います。聞く耳を持たない人には語る事ができず、「海をあげる」その絶望の「海」を思い胸がしめつけられます。

あわせて読みたい

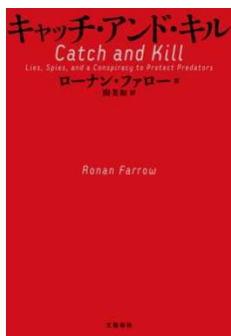
『裸足で逃げる 沖縄の夜の街の少女たち』

上間 陽子 著, 太田出版, 2017年

新着図書から

『キャッチ・アンド・キル』

ローナン・ファロー 著, 関 美和 訳
文藝春秋, 2022年



ハリウッドの性的虐待のスクープを世に出した勇気ある女性たちとTV記者の壮大なノンフィクションです。

こちらから
新着図書は



ほぼ毎月更新!

あいホール 浜松市男女共同参画・文化芸術活動推進センター

〒433-8123 浜松市中区幸3丁目3番1号

TEL: 053(412)0351 FAX: 053(412)0377

Mail: info@ai-hall.com URL: <https://www.ai-hall.com>

浜松駅バスターミナル13番乗り場 50番

市役所山の手医大行き「あいホール」下車徒歩1分

※有料駐車場有(100円)

